会員数

男性 1,603人

女性

477人 2,080人

令和2年8月末現在

編集・発行

公益社団法人 松戸市シルバー人材センター

₹271-0043 松戸市旭町1-174 TEL 047 (330) 5005 FAX 047 (330) 5008

松戸市シルバー人材センター ホームページ https://webc.sjc.ne.jp/matsudo/ E-mail matsudo1@sjc.ne.jp 2020年(令和2年)10月1日

令和2年度定時総会報告

事計事異3さ23会等画業例密れ日場 ト高 日 を態型 ま の回 ま理滞理監開避 セ 宣 火 事な異なった。 ン 口 た長な長報 でた タ ナ 午 十後,中、 ほ告 ウ し 8 感 た 染 了か 参 イ \mathcal{O} 新承の今が加要 に ル 時 さ新年、 者 因 移定 ス 制れ旧度昨数とが、交の年をさ し時禍の ょ り 総の 代事度限れ開6 ス 会 人業のる る催月は緊

しな

がえ

り

す。

な

b

今

社

な会



新

理

長

就

任

ļ

玾 高 事 尾長 司

ごす

さ時

進なもて持つ

11 0

ろご皆ま にセづいし経高なンくの、験齢 し指様いのが 験齢今 事 \mathcal{O} 者後く ŋ タ 充 様 導にる充松い長 ごお所 を実 々技の超お 実 戸まに 考の推 とな能皆高願鞭か存発市す 就 でござ 0 事進社就 齢い 様 撻れ 展 シ 任 て業す会業知が化申 な ま にル微致理 注補下ス昨おは る参を識 社 L 賜 努バ L 力 会 ま 上 い力 で ま シ加通をれ ŋ 7 大まをげ すルに じ まはまを 人は し という は前の注 で う 同 で 迎ま ま バよ てい で た任定 す 生に培えす す] る 重人地き生っる中 でしていまれ、会 よ様 てタ ま

務

岡

村 理

ざ務に 。い選お 支] 日ま事いの 度、 をの頃す。 て、 に 賜事か 就 らよ任理 り 業 令 ろし 事 和 運 戸誠営シし まに 2 くし選年 市に ル バおた任度 あ 皆 願岡 さ定 り が様人い村れ 期 とう か材しで らセまご か材し 常会

況のりコ

る国環

受の境

少のり

挙シ制会ど情がルや員に勢

をは抑

等減厳口かる

1

ル

減金あ影のま

就

大拶とさせて 心申し上げた に、皆様ので ま 健がの取 後 業時 た 7 で ŋ 康 ょ だ もに会 生 に ま 代 組 う い皆のき涯お充員 お む な ご力健を きま ま 元分で皆 7 二た現 る様 中 一い役気 11 L ただき 勝ご で て 理 賜 共ズと 留様 存 \mathcal{O} で L にに思気 n 意には 題 7 多幸 Ŕ 事長 ござ ま 積即い概 生いお で ま す きた ま で かざ 極 し をご 的たす。 頑がだ れい 就 ŋ حَ 張いき 任 層 ま に 様 7 ŧ) す推々私つをいは 祈

令和2年10月1日(2) 員 っ入そン Ł のなっている。 自セ て、 様 業 めの魅 めの続会に確力自立を対している。 1 め生きがい、ないけることによ 員 立あ立は 一きが で 社を を も と 大 を ま を よ ま ま

様貢指ル働本

が献しバ・理

別視い人助

て一共

セの

あ

ていま、 中、変化 と と 中はに、変よ さて、 ょ り、 人一人が、 はルバて L 1 お てまいりた バて 高 これ ます、 い齢 、ます。 者高 れす人かま材 か、ご活 を齢 . ター らも、 ŧ す 取 化 セ ま す 重 ン り 社 を目 一要に 巻会の \mathcal{O} 躍 タの で、 指 L

セ

タ

Ì

新

組織構

成

長

長

(副) 会

副委員

長

正

一会員

理委事員

2 決定

務 わの はり役定 の通りです。なした。新した。新した。がなるを受け、 ッです。新しい い組 顔織 本 セ ぶ構 れがアンション れ成 職変

出河小沖地和井笹大山林総

喜六(会) 恵美子(会)

班活動委員

三郎(理)

林

会

和笠村

三行雄

雄 (副

· (会

田原

隆

役 員 ഗ 皆 さ ん

常 理 務事 理 長 高 隆 秀 司 新新 任任

> 理理理理理理理理理理理 事事事事事事事事事事事事

三和哲

志 郎

ランティア委

員

会

三

井

勝

次

(副

慶治(会)

佐 加 瀧

野茂﨑

輝欣文

人成夫

会

会

相 原 三 山 木 佐 染 林 沖 森 海 小 渡 小 郡 井 本谷老室邊川 雄博芳原 司子征郎子也信

澤田井本村藤 康豐勝博次惠秀夫行次之人子雄

長高宇佐ボラ

孝義(会) 孝義(会)

などを高い

ŧ

って、

し健健て康康

い寿状

11

よ誇

い寿状、を野ま材ま命況会もにすセ

b) \

を

延

することを目

指

(理)

渡 林

和雄

義

(副) 子

邊

· (理)

小

野

きへ子(会)

石 大 星 垣 石 野 賢治(会) 進(会)

理 員会

長)

義雄(長)

会

博之(理)

恒博三久司郎

(理 会)

(副

英哲(会) 慶治(会)

(会)

市高中沖小川橋村本室

岡滝原藤木 田田 笛村 香代(会) 人(理)

由美子(会)

崎

秀昭

会

根木森沖岸村谷本 敦 髙 芳 子 明 子 司 (会) (全) 理

> 悦子(会) 佐崎

> > 眞由

美

裕子(会)

編集委員会

敦子(会) 和子(長) 新山山 橋 﨑 本 正 修 典平之 会 会

紀代子(会)奥 芳子? 惠子 子 (理) (長)海老原 奥 山ひ 井 征志郎 で子 勝次 美 (会) 理 副

雅道(会)

(会

事会 報

1 承内回認容 令 和 2 年 5 月 27 日

 $\underbrace{1}$

(2) 特 子項の承項 承 認 認に につ つい いて て

及 び 計 平 算書 2 類 31 等 年 に度

定時議つ に総 つ会第 ク施事いの2 集 及令 び和 議 2 案 年 の度 決定

3 業報実告

作況 に報 つ告 いに てつ 11 7

2 布 2 日

口 令 和 年 6 月 23

- 内
- 1 入会者 承認 \mathcal{O} 承項 に

0

7

- 議案事 項
- 案第3 0 7, て 理 事 長 \mathcal{O} 選 定
- 第 3 定 案第 内回 12 **つ** 1 4号 て 和 2 年 7 月 31 日

務

理

事

 \mathcal{O}

 $\widehat{1}$ 議案事の

会議

容

- 入会者 認 に 0 11 て
- 号項承項
- 算和議 案第 5 1 口 松 [収支補 戸 市 SC 正 予 令
- $\widehat{\underbrace{3}}$
- 告 会及び各委告事項 委員 カコ 5 \mathcal{O}
- 専 門部 会
-)専門部 実 会 等 状の沢活像 の関 報動告状 に況 つ報 1 告

7

0

- 金 に施 て
- 行 に 0 い

7

事務局 からのお知らせ

関するお ナウイ ル ス感 染症 に

せ 口 ナ 禍 感染 不回避の 総知らせ \mathcal{O} ため メ F が たち 会員 \mathcal{O} ま

> 温 ット た ず 日 な よう (マスク着 に 手 回は くれぐれ 洗お避 何 い の いい ださい。 3 実施、 11 用 たし、 Ł 7 感染 センター 毎咳 ま守 防 日 工 n 止のチ[^]。 対検ケま 頂 き

・受診の目安) 事を受けている方 談く りましたら、 $\widehat{\downarrow}$ *新たな 、ださい。

・高齢者で芸など強い症状 きなど比れ 重· 症高 息 苦し 化齢 L 較やす 基礎疾患のあ 状 がある場合、強いだるさ、 軽い風邪 邪 の無る人、 の発 高 がせ 熱

続く場合 ・それ以外の ある場合 続く場、 的の 軽 人 人で、 11 風 邪 発 の熱 P 症 せ 状 が き

直が味 ず味 話 れかに タ 覚 新 0 型コ に当てはまる際覚の変化 47-361-21 帰 国 口 国者、接続 大学 できる 相 談 接電場 さ 者話合 4 い相相は、 0 談談

ŧ

あ

り

変則

 \mathcal{O}

4

(まし

来たが、

3 日 迄 業報告書の提出日は、 です。 それを過ぎると 翌月

> の でご注意ください 々月の配 分金扱いとなります

和 2年度事

発生事故件数 傷害事故 件数 g 11 件件

就業中3件 内 就業途上 3 件 5 件

8月末現在

会報編集委員会からお知らせ

発 行 報 に 64 つい 号 (臨 時 号)• 65 号 の

大等定件18迷行会事、時が口或が報 大事と衆議一決し、急きょこの等、早急にお知らせすることが件が話しあわれ、6月23日の件が話しあわれ、6月23日のという。 8月24日の編集委員会でこのが、 18日久々の編集委員会でこのが、 19年間である。 18日久々の編集委員会でこのが、 19年間である。 19年間では、19年間では 臨 時 報 長 回は 発 64 引 号 く 行となった次第 号 新型 撂 は、 載 原 コ 5 月、 稿 口 \mathcal{O} ナ 禍 9 です。 \mathcal{O} 月 \mathcal{O} 発 で

を期すこととしま 次号(1月発 ページ建てとな 少ないこと 集」な 行 4 す。 数は 文芸の募集 地 規 シリース 域 2 班 0 シ 等 0 IJ

ご了 募 承ください t 目 的 7 しい

何

卒

稿募集 第 65 号 Ĺ ます!!! (令和 3 月発行)

(1) **1** 特集 《全員参 「コロナ 加 3 **0** に デー 生 マ で す

てきた暮し方や体 ぼ1年に マスク着 コロロ ナ感 わた 用、 染防 る自 密 止に心が 開連など 回避など 験 止 など がの け中ほ

(2) 「Go to トラベル」 \mathcal{O} 体験や感想 12 0 1 7

正月特有の変わったしきた ②特集「故郷の正月の思い出」 や伝統行事、正月特有の変 遊 び

❸特集 「そ の 他

でも構いませ、
免許証返納、
が身や家族に ません。 谷はこれ以外のこれ、今年の抱負笠族に起こった出来 字程 趣 度で 味 \mathcal{O} 特 お願 こと、 集」 0) のこ字と 等 来 L 々。 事、 わ

各 は従 種 活 来通りです。 動 報 種

働くようこび』

び職新 を場 通 をの こ 実 て 際 仕に 1 見ズ 事 の聞 内 Ĺ 働 容や < 会員 働 < 技 歓 B

せて次号

 \mathcal{O}

原

会

員

ത

ひ

ろ

ば

頂編他らご 一伝上 集薦せ存 事えの 部 でた知業 ま 留 編いののす で ユ広 取集職 点 材 部場二 報 そ な] との J. \mathcal{O}

ク

報な

お情

考 寄

さ

せ

な

る ま

ま様

K

ヤ

全投稿締切/令和2年 11 月 13

日

地 域 班 活 動

1 9 3 班 7 の 昭 \neg 和昭 和 元年 7 面 和 \mathcal{O} \mathcal{O} 杜 Þ に 27 こ 名 \mathcal{O} 杜 博 あ 博 物 名 る晩 \mathcal{O} 物 館 で 館 ほ 東 秋 ど開 を 松 \mathcal{O} を 訪 戸 訪 ね館 日 (紙 ね 8 L ま 7 た 敷

8 班 今田 尚 俊 、まとめ Ш 﨑

合同

打合せ

況を班 合昨 3 つに同年班 14 L 作 4 世た。 名 • 業 で 5 班 の昼 • 現食 6

を 市 3 開 民班 催 セは 2 ま タ 月 L] 1 で男 日 \mathcal{O} 地

料

元

理の

新

会

料

理

で

新

年

5

班

谷

地

由

夫

五

十

音

順

略

古地男

ケ域の

崎 班

3 班 本博之)

> 者乙 とし 何 す。 4 か 4 種令 資 和格 チ 2 15 を -年 あ れ 独 V ジ \neg で ば チ危 チた険思 レ物い ン取 ジ扱

5 班 大 谷 敏 博

よろこび第1回 で次号に掲載します。 ンジ文芸」の全文は、 「会員のひろば」 64 号予定の 「地域 ーシリー および「チャ 紙 班 面 ズ働 活 \mathcal{O} 動 都合

賛助会員」 の皆

人 会員

宮田小加小梅石安原中山藤沢本崎蒜 美智子 英彰頼暁信子子民 眞 喜 江 戸藤佐小傘小伊五 張原々暮木圷藤十 木 嵐 友 良 子 子 宣則興司 雅子 子夫基郎

法 八人会

- 有 限 会 社 サ 力 イ
- IJ 祉 バ 福 サ 祉 1 法 ド 根 ヴ 木 イ 内 福 ラ 祉 会

シルバー人材センター

マスコットキャラクタ・

- 式 숲 社 吉 廣 商
- 式 Α 事

株

Μ

K

介護老-有 医 -限会 療 法 社 人保健施設葵 人 社 中 田 寸 化 葵 成 0 遠 松

本

- 大 正 寺
- 松 |||産 業株 式 会

は

令 和 2 年 9 月 末 現

在

材セ

目

財れ

セン

日

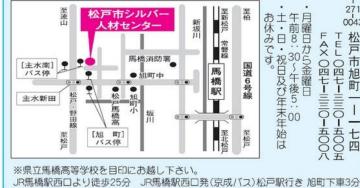
賜 セ員 解 当 ŋ ン 上 لح セ 平 \mathcal{O} タ皆 げ 素 ま す 様 ま 支 タ ょ んようお す。 援 ŋ \mathcal{O} 賛 お をの ご支援、 引賜 か 活助 会員 願 れ き り 動 ま 続 申 L き 厚 対 \mathcal{O} ごて、く協は賛御 す 皆 上 る 様 げ 力 助礼 に を 当会 ま 申理は

お紙松 \bigcirc 務 申 に 法 個 戸 入会後 人 局 お L (会員 を発 ま込 名 会 員 で 4 前 行のは、 を 掲の 1 1 $\overset{\square}{\cup}$ \Box 細載都 会 報 度 は 11 3 当 たお 1 L 送 セ 0 5 は ま ŋ 0 0 0 ン す タ **5** 0 0 0 同つ円

連 絡 先 0 47-330-5 Ŏ 0

5 チェブクロ-公益社団法人





ミスをし 口々精進 できませんが、 事に選任されました、 の山本博之です。 あり 年 6 ほどよろしくお願 標として、 信 ター』 ター』 頼される松戸 /ます、 たり して 月の定時総会等を経て 0) カゝ 1 人では ら市 松戸 きたく考えて 協 員と呼ば 会員になっ 私自身大きなこと 力とご指 市 民 市 出来な い致します。 \mathcal{O} \mathcal{O} \mathcal{O} 皆様 『シル 地 ラシ 域 れるように ル た いことが か 班 ます。 バ 5 バ 頃 3 新] 愛さ から たに 1 班 鞭 人 人

Щ 本博之

撻

0

々

鰏

271

0043

松戸市旭町

一七四